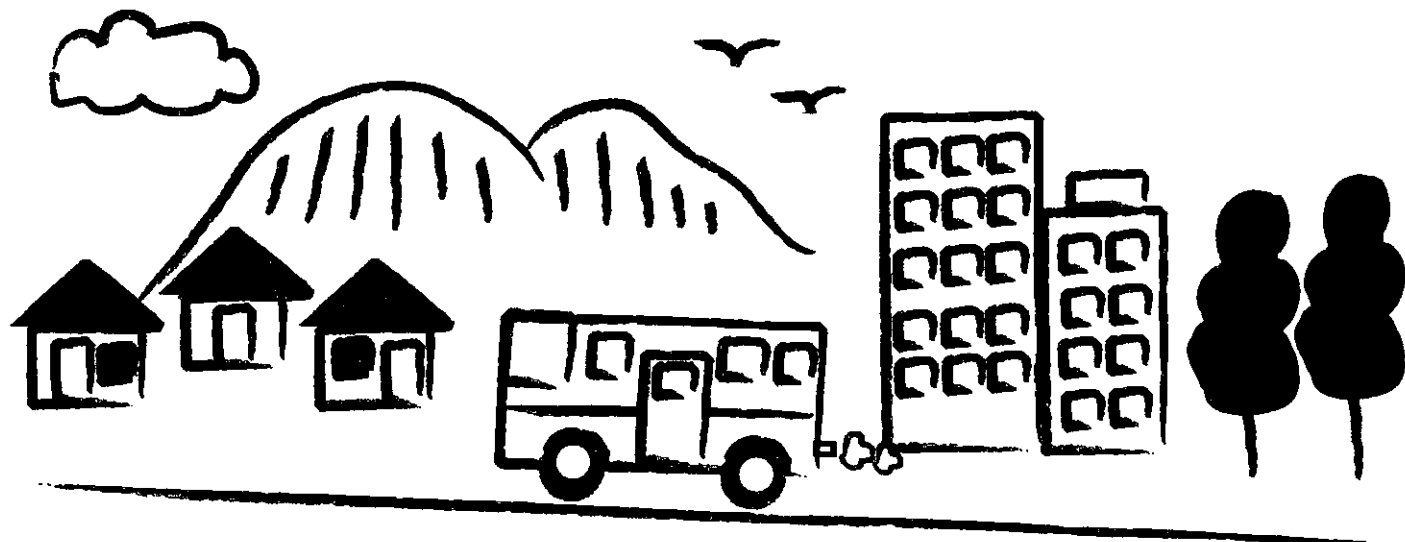


シンポジウム

地方都市とHIV/AIDS



日本全国のHIV/AIDSの累積報告数は2万件を超え、東北での累積報告数も470件を超えています。
(厚生労働省エイズ動向委員会発表。2012年12月現在)

このような状況の中でも、日々の生活の中でHIV/AIDSについて考えたり、話題に出ることは少なく、HIV/AIDSに対する差別や偏見・誤解の根強い地方社会ではその傾向が強くなっています。
今回のシンポジウムでは、地方都市である仙台と福岡のHIV/AIDSを取り巻く状況や、それぞれの取り組みを紹介し、今後の対策について考えます。

2013年8月10日(土) 14:00~15:30 (開場 13:30)

仙台市市民活動サポートセンター 4階 研修室 5

仙台市青葉区一番町 4-1-3 地下鉄「広瀬通駅」西5番出口すぐ。

ゲスト：いちろう氏 Love Act Fukuoka

入場無料

主催：東北HIVコミュニケーションズ 公益財団法人エイズ予防財団ポジティブ・アクション助成事業

協力：やろっこ、Living Together 計画、Love Act Fukuoka

お問合せ：sendai865@yahoo.co.jp TEL 090-2847-3751 (太田)



東北 HIV コミュニケーションズ とは・・・

「HIV/AIDSによって自らの生命や生き方に影響を受けた人々が、共に生きる社会を作り出すこと」を目的にエイズ電話相談等を実施。東北 HIV コミュニケーションズのボランティアグループとして活動を始めた「やろっこ」は、東北・仙台のゲイ・コミュニティを中心に HIV/AIDS についての正確な情報を届けるために活動している。



Love Act Fukuoka とは・・・

コミュニティや、関係機関（行政や他 NGO）と協働し、当事者性を重視した予防啓発活動を実施。MSM のセクシュアルヘルス増進と、セーフターセックスを選択することのできる環境づくりを目的に活動を行っている。活動の一環として運営しているコミュニティーセンター haco は、福岡を中心とするゲイ・バイセクシャルの男性に向けて、HIV・エイズや性感染症などの予防や検査についての情報を発信しています。



Living Together 計画 とは・・・

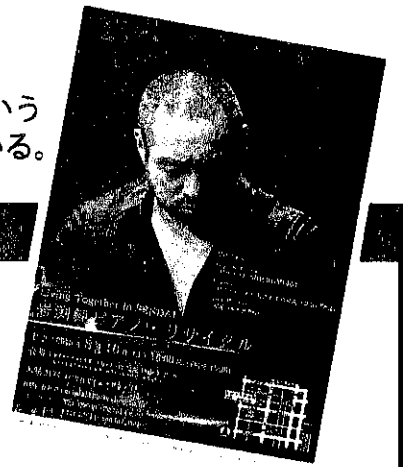
HIV を持っている人も、持っていない人も、すでに一緒に生きている。そんなリアリティーを共有するためのプロジェクトが「Living Together 計画」です。

1) 目的

「HIV は身近な存在である」というメッセージを伝えること。

2) 特徴

「HIV は身近な存在である」というメッセージを伝える際に「多様性」という視点を交えることにより現実的で様々な人に伝わるアプローチを用いている。



同日開催

Living Together in SENDAI 岩渕純ピアノ・リサイタル

2013年8月10日(土) 16:00 開演 (開場 15:30)

会場：仙台市市民活動サポートセンター地下1階 市民活動シアター

入場無料 (どなたでも入場できます)

会場

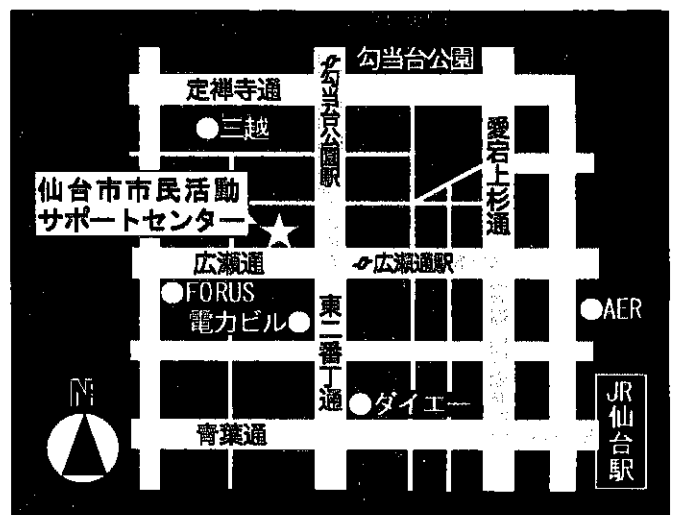
仙台市市民活動サポートセンター4階 研修室5

仙台市青葉区一番町4丁目1-3
地下鉄「広瀬通駅」西5番出口すぐ。

※公共交通機関をご利用ください。

※会場に駐車場・駐輪場はありません。

近隣の有料駐車場・有料駐輪場をご利用ください。



主催：東北 HIV コミュニケーションズ

協力：やろっこ、Living Together 計画、Love Act Fukuoka